



目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



## 「子どもに寄り添う本校教職員」

校長 高柳 政行



日々の教室訪問での様子、休み時間での様子、職員室での様子、教職員との会話などを通して私は思うのです。

本校の教職員は、子ども達への関わり方について、子どもの気持ちに寄り添い、子どものニーズを捉え、一緒に考えたり創造したりしながら学年・学級経営を行っている。

すぐに、答えや結果が出ないことも少なくありません。しかし、時間をかけ、根気強く、エネルギーを注いで教育活動に取り組んでいます。このことを、保護者の皆様や地域の皆様にまずもお伝えさせていただきます。

具体的にいくつか紹介します

- 1 本校教職員は、子ども達の特徴や特性をよく理解しようと努めています。「あなたのことをちゃんと見ているよ。ちゃんと見ていくよ」といった姿勢を大切にしています。子ども達にとって自分のことをわかってくれる大人とは信頼関係が築かれていくことでしょう。
- 2 本校教職員は、子ども達への愛着（学校での父親や母親ように）を持ち接しています。教職員の愛情は、子ども達の自己肯定感を高め、他の人への思いやりや、友達へのやさしい行動にもつながっていくでしょう。また、先生が話すことは大事なんだとか、先生となら頑張る勉強しようなどの学びに向かう力にもつながっていくでしょう。
- 3 本校教職員は、わかる・できる授業の工夫や、子ども達が主体的に対話を通して学んだり、協働的な学びを推進したりして思考力が深まる授業づくりにも取り組んでいます。子ども達に予測困難な社会の中でも、生き抜く力につながる資質・能力を育成するため、それは、言い換えれば、子ども達一人一人が幸せな人生を歩むことにつながる基礎力や、社会で貢献できるための基礎力につながるものと考えています。

本校の教職員の姿をイメージしていただけたでしょうか。そのような姿は、本校の「目指す教師像」につながります。保護者・地域の皆様と共に子ども達のため日々の教育活動に邁進してまいります。是非、ご理解とご協力をお願いいたします。



### 4月の授業参観・懇談会への参加ありがとうございました。

全学年で学年懇談会及び学級懇談会を実施することができました。教職員一同、一人一人のお子さんを学校全体で育成していく所存です。そのための校内研修体制・生徒指導体制・教育相談体制・特別支援教育コーディネーター体制や市教育センター、学校カウンセラー、福祉相談員などとの連携を図りながら組織的に対応してまいります。

私自身も校長として、これまでの様々な経験や教育学、心理学の知見を活かし、子ども達や保護者の皆様の困り感や相談事に、いつでも対応していく所存です。その際は、事前に電話やお手紙等でご連絡ください。なお、直接来校いただきお話することもできます。

今年度も校長室前に「校長先生あのねボックス」を設置しました。お子さんに、「相談事や話したいことがあれば投書したらいいよ（もちろん直接来室も可）」ということもお伝えください。